

図 1 . 1 0 沈降スラブ上面の測深と推定による位置についての、日本海溝沿いの JT と JH 断面線 ( PLATE1 参照 ) での比較 ( After Kao & Chen(1996), JGR, 101, B12, 27,811-27,831 )

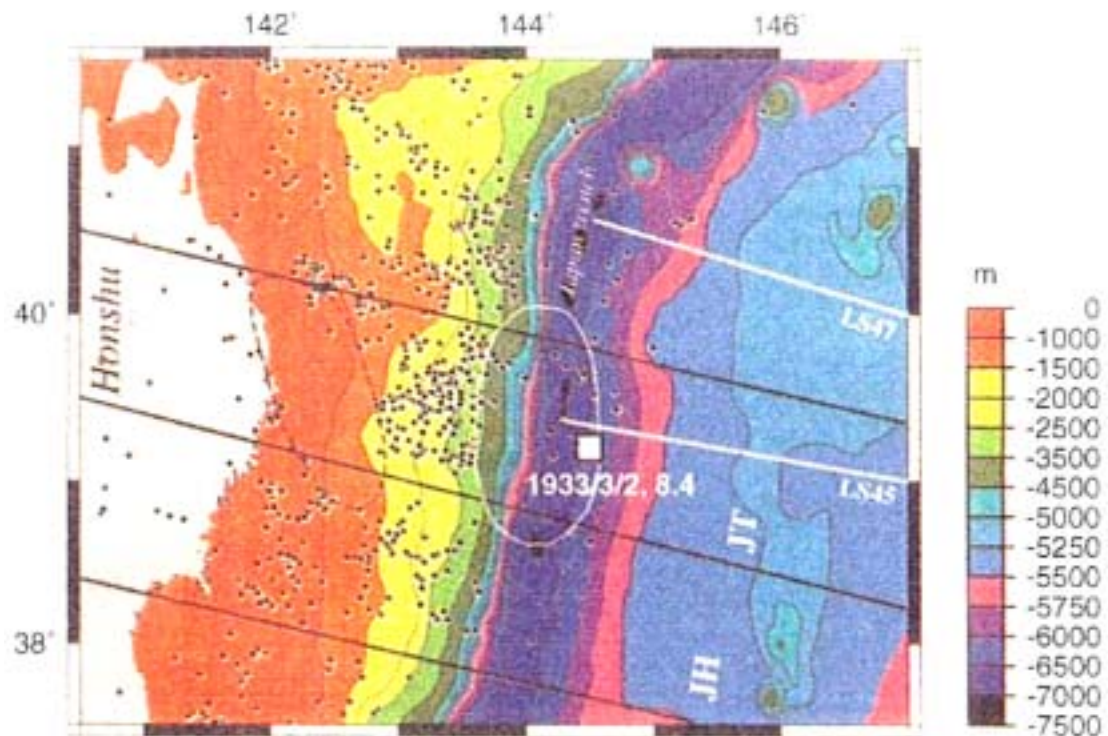
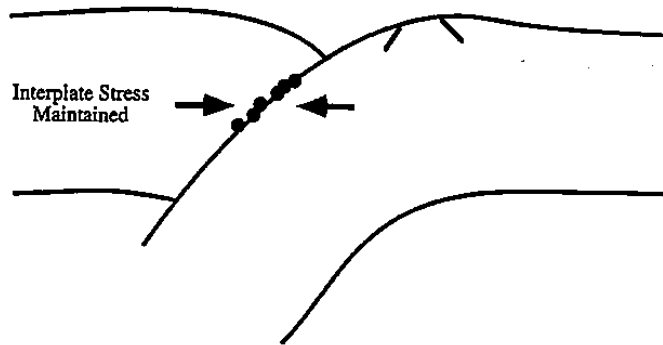


図 1 . 1 1 本州沖の日本海溝外部上昇斜面付近で発生した 1933 年の三陸地震 ( ) 周辺での地震活動度と海底地形 ( PLATE1: After Kao & Chen(1996), JGR, 101, B12, 27,811-27,831 )

(a) Unsaturated in Bending Moment



(b) Saturated in Bending Moment

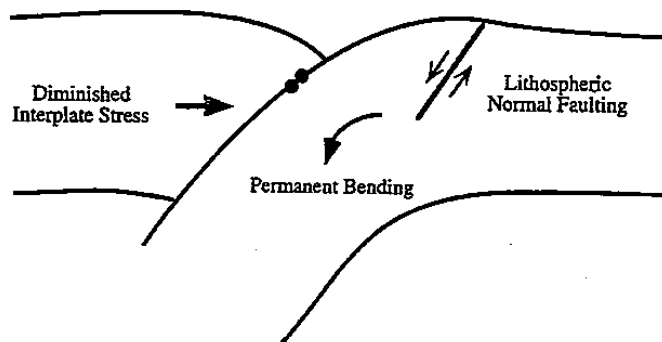
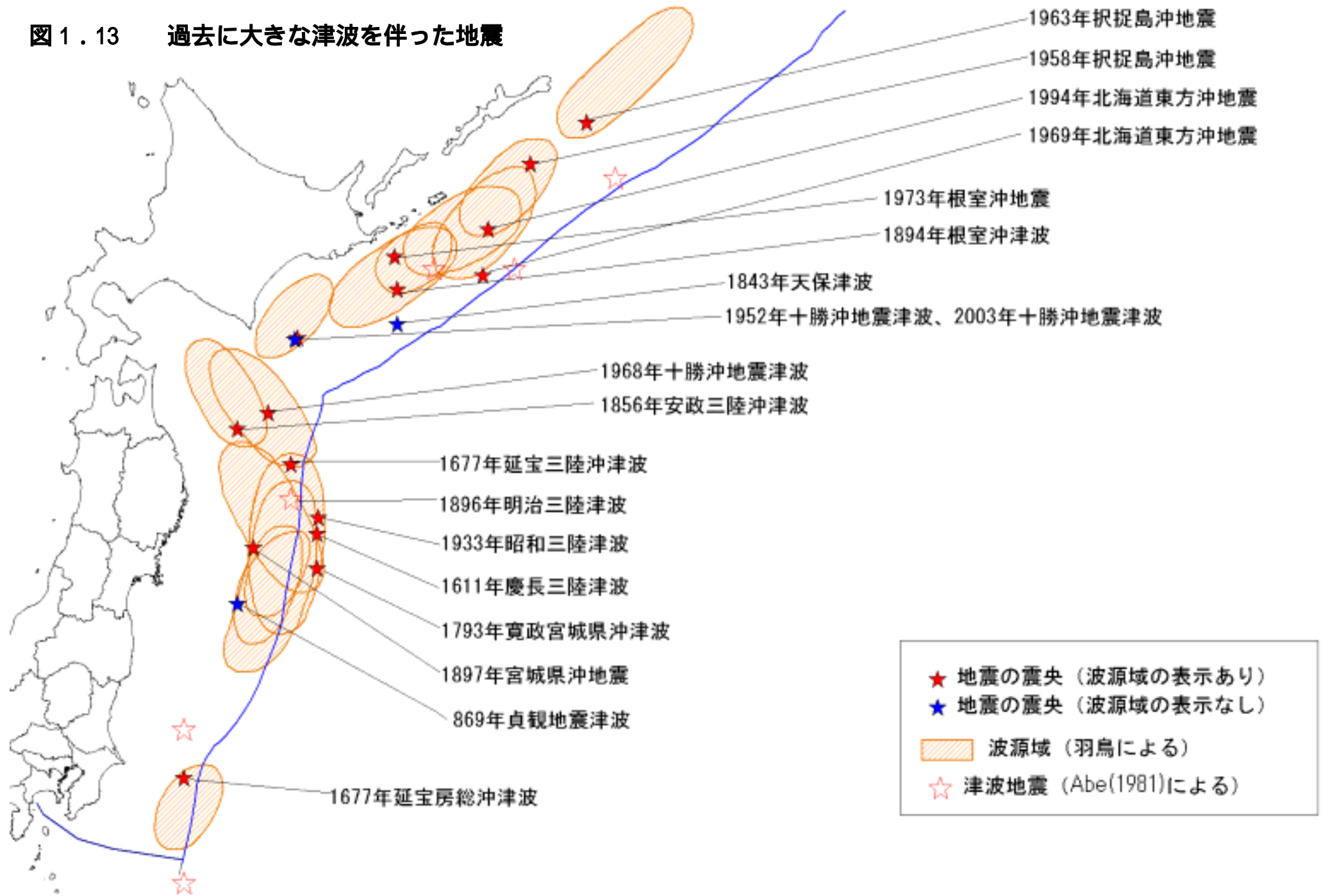


図 1 . 1 2 本州弧全面の外部上昇部における沈降プレートと地震活動の間の観測された相関を解釈した模式的断面 (After Kao & Chen(1996), JGR, 101, B12, 27,811-27,831)

図 1.13 過去に大きな津波を伴った地震



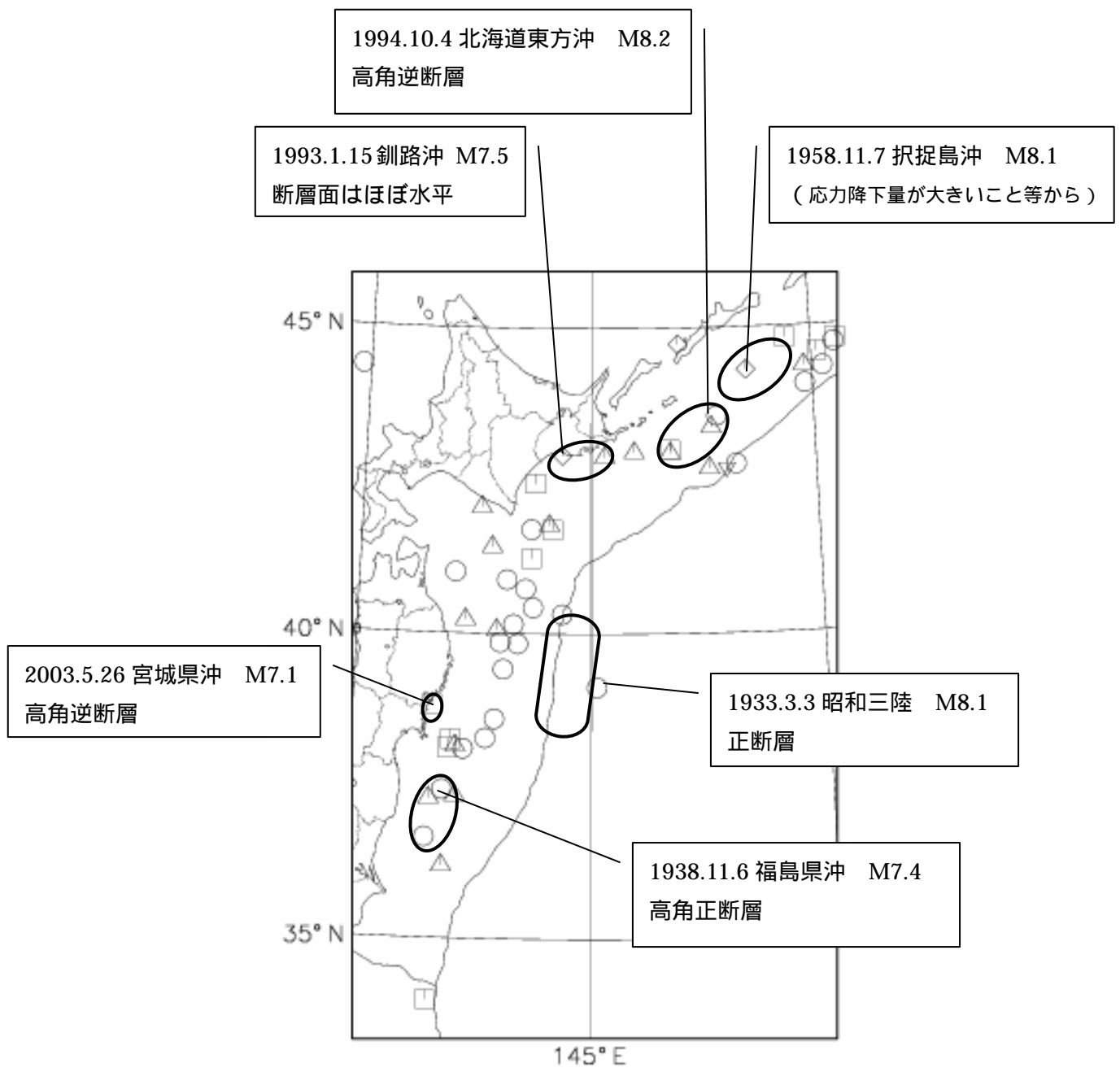


図1.14 1926年1月～2003年12月の地震(M 7.0、depth 120km)のうち、プレート内地震と考えられているもの

図 1.15 千島海溝沿いの震央分布図 マグニチュード4.5、深さ120kmより浅い地震

1923 01 01 00:00 -- 2003 09 30 24:00

N=4930

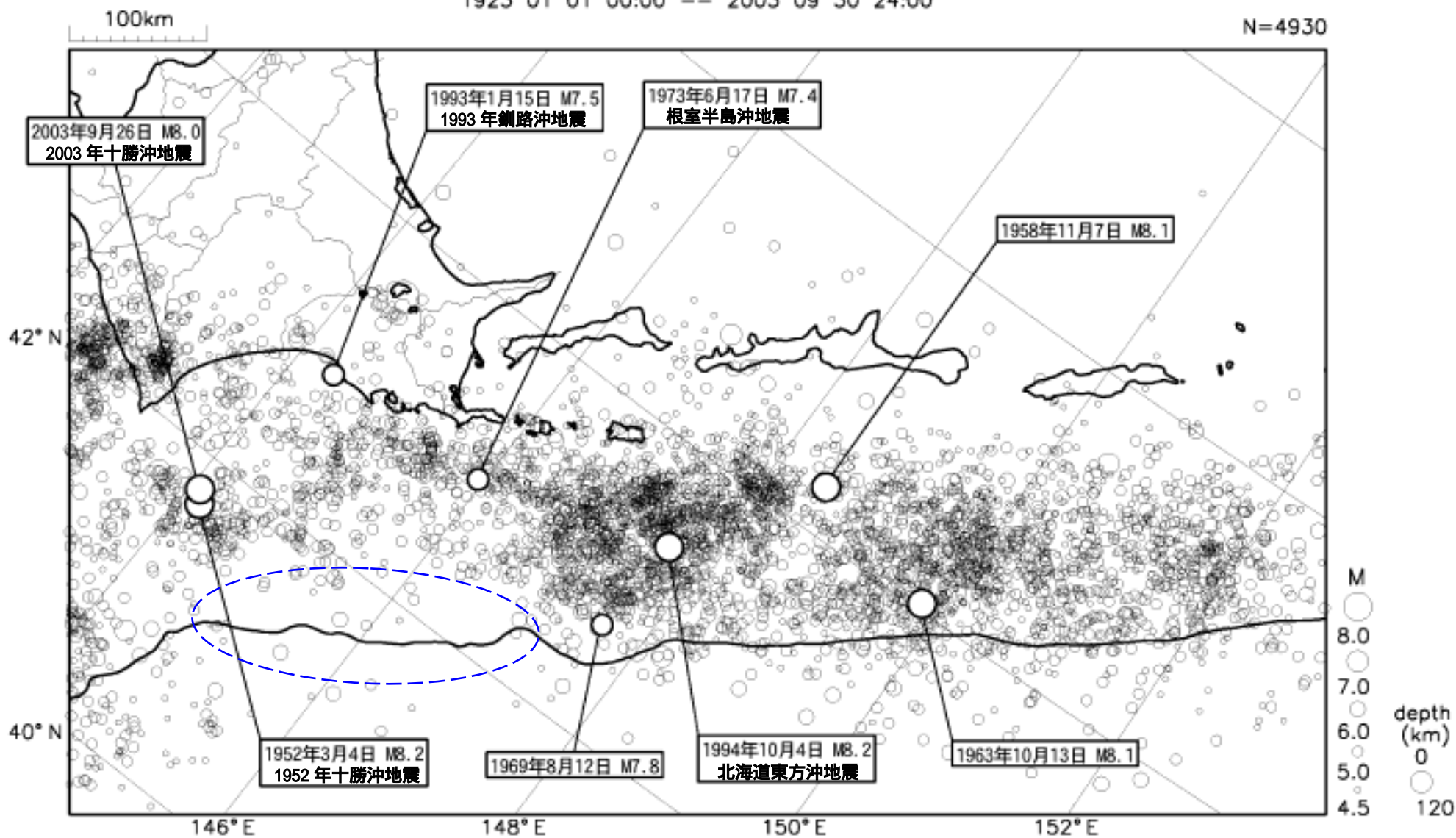
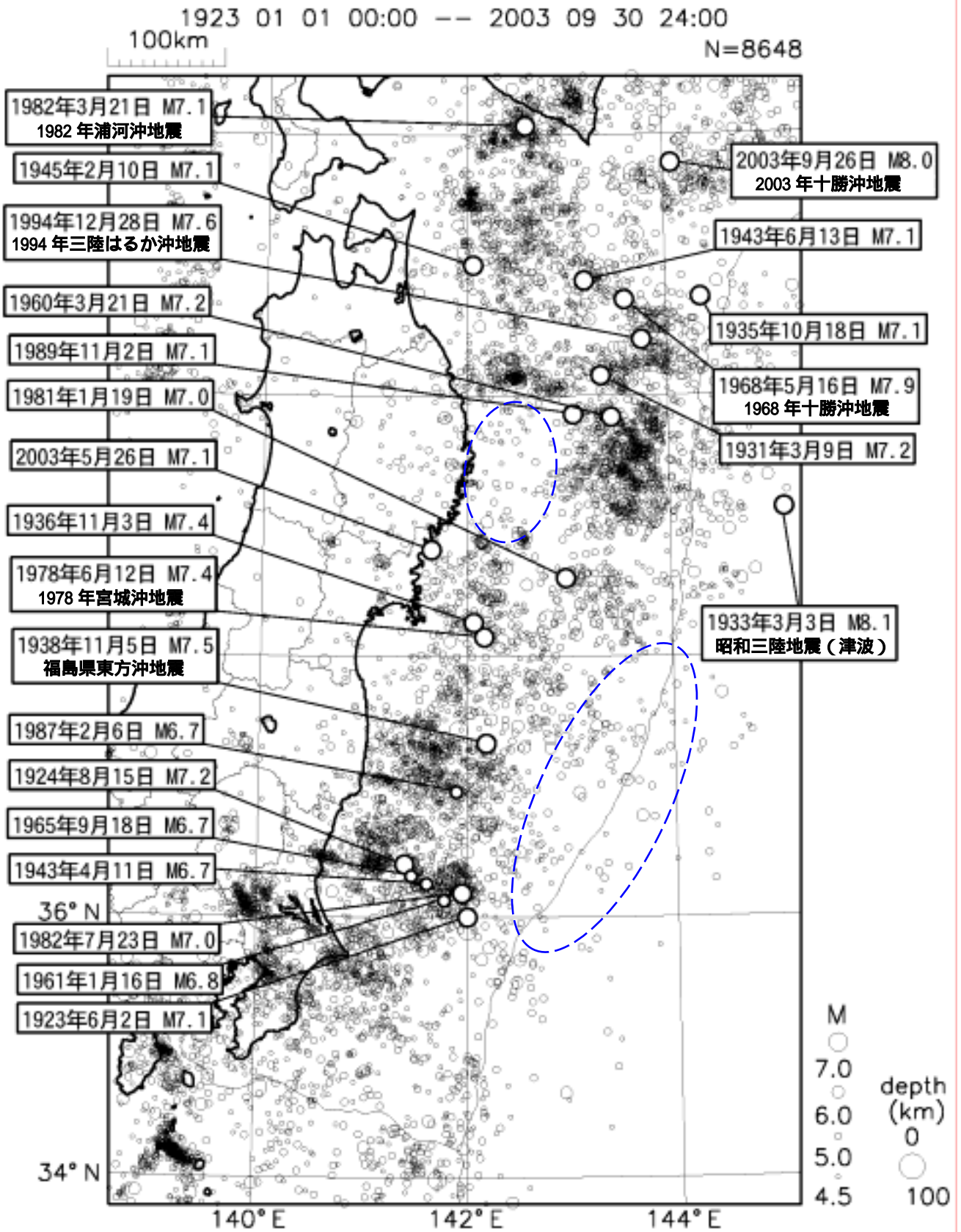




図 1.16 三陸沖の震央分布図 マグニチュード4.5、深さ100kmより浅い地震



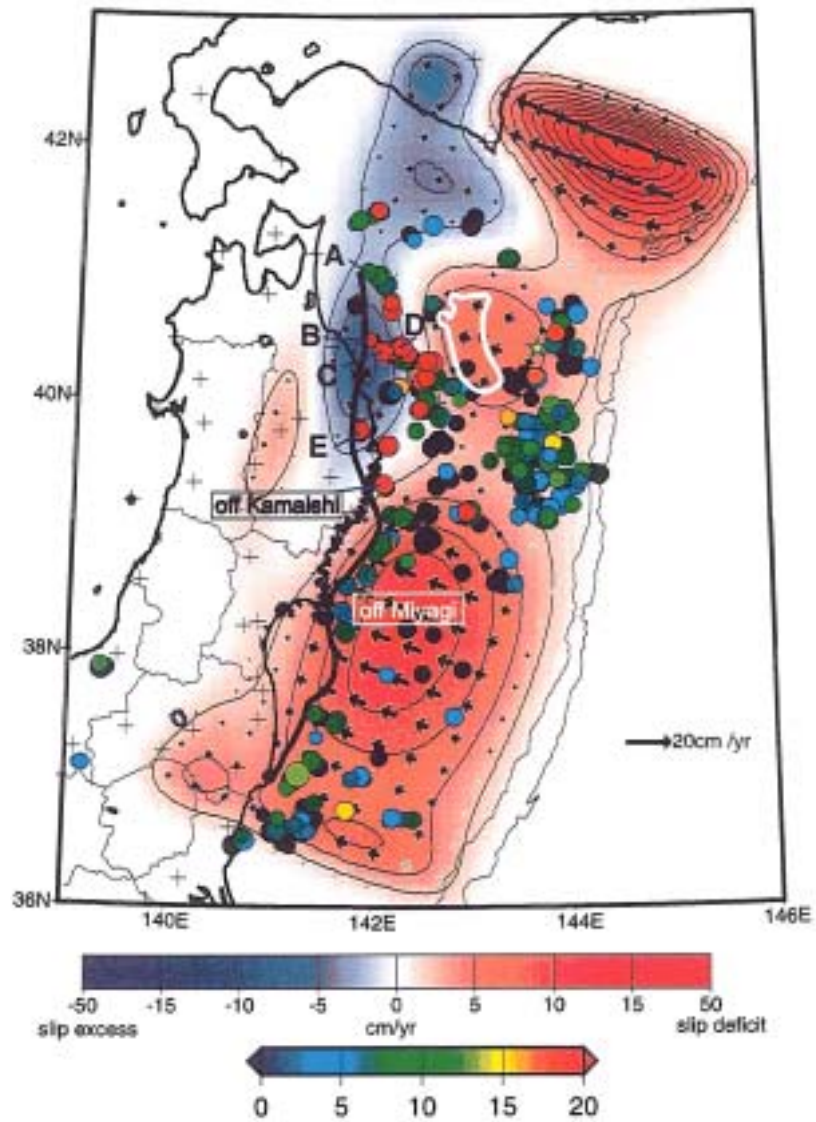


図 1 . 1 7 G P S 及び繰り返し地震解析で得られたプレート間スリップ分布  
 ( after Igarashi et. al. (2003), JGR, 108, B5, ESE8)

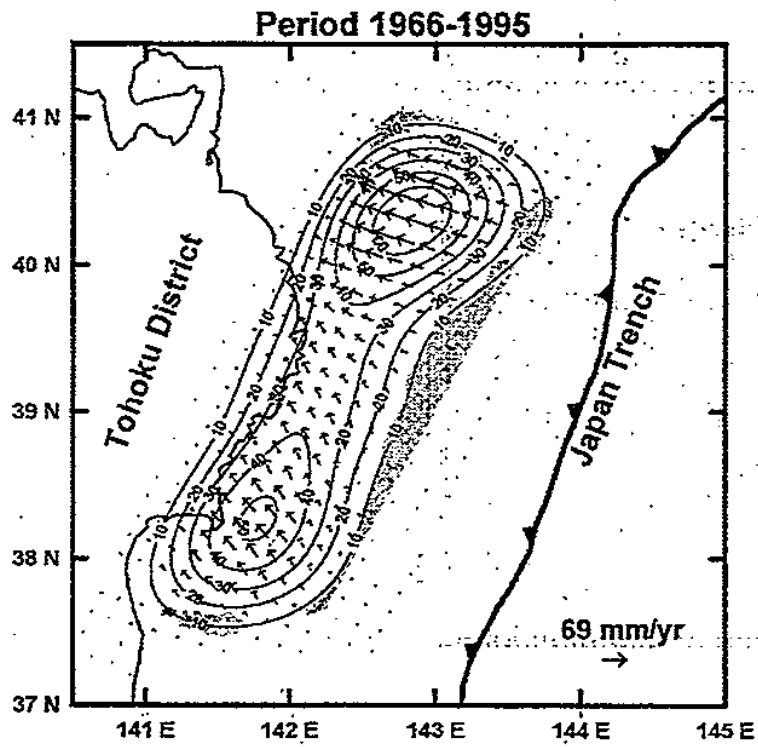


図1 . 1 8 地殻変動測量から推定されたプレート間カップリング  
 (after El-Fiky & Kato(1999), JGR, 104, B9, 20, 361-20,377)



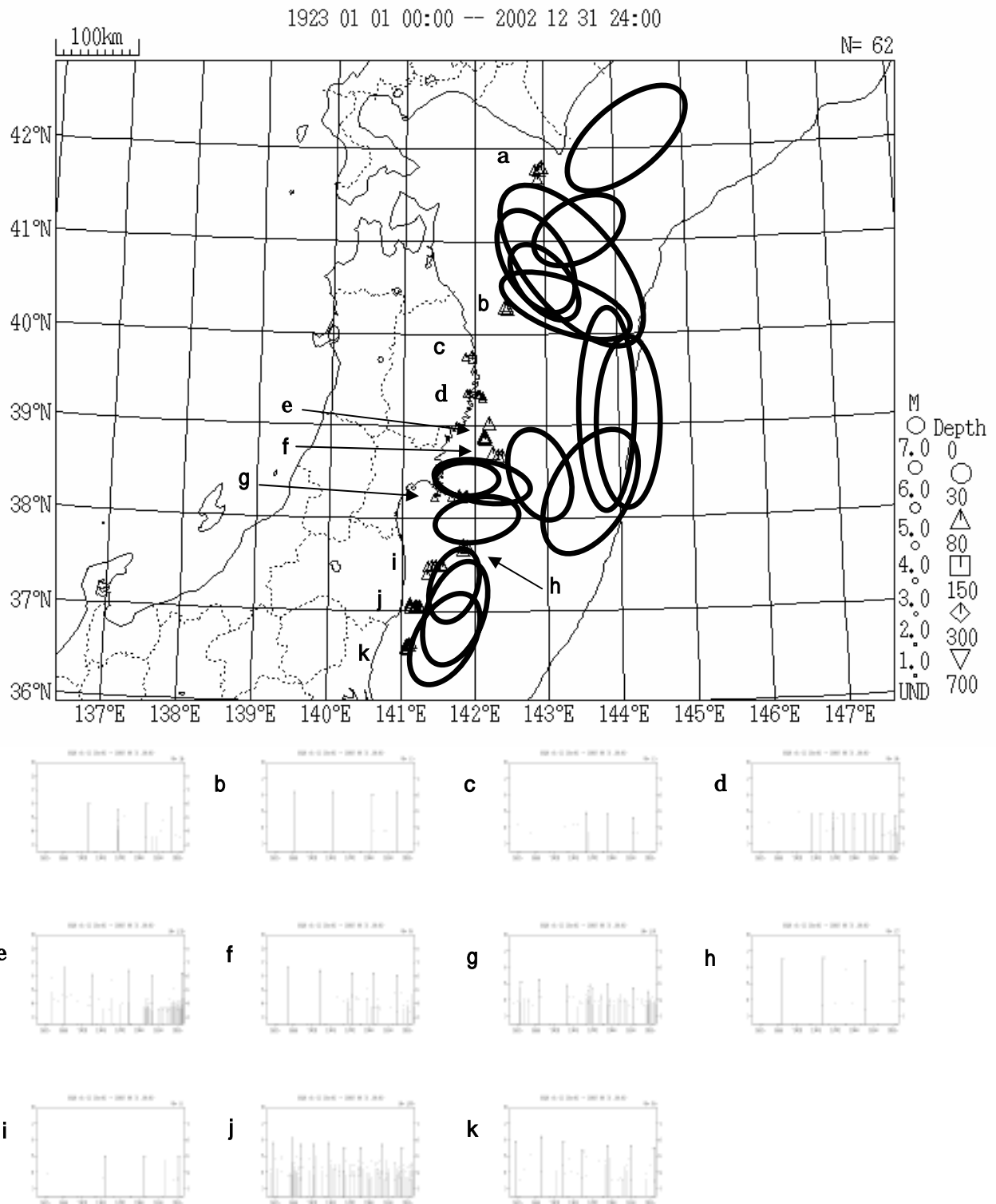


図 1 . 1 9 固有地震的地震活動の可能性のある場所

( 図中記号が固有地震的地震活動の可能性のある場所で、 図中楕  
 円は過去の発生した大規模な地震の震源域を示す )

( 長谷川ほか(2004)による )